

第44回定時総会および第113回理事会を開催

平成24年5月18日、一般社団法人電池工業会は第44回定時総会を機械振興会館にて開催した。定款にもとづき本間充会長（三洋電機株式会社代表取締役副社長）が議長となり、第1号議題から第3号議題までが審議され、提出された議題はすべて可決承認された。

また定時総会終了後に行われた第113回理事会では、第1号議題から第6号議題が審議され、新副会長の選出等が行われた。

1、第44回定時総会

(1) 第1号議題（報告事項） 平成23年度事業報告

各分会長・委員長または事務局担当より、平成23年度事業報告の説明がされた。

(2) 第2号議題（第1号議案）

平成23年度収支決算書（案）

事務局担当から、配布資料に基づき平成23年度収支計算書の説明がされた。

また、監事を代表して河津監事より監査の結果当該決算書には問題の無い旨の報告がなされた。

以上の説明と提案に対し、審議の結果第2号議題は原案どおり可決承認された。

(3) 第3号議題（第2号議案）理事選任

専務理事より、定款の定めに基づき下記の理事より理事辞任届が提出された旨の説明がなされた。

理事辞任 平成24年5月17日付
株式会社日立製作所 ^{つのだ} 角田 ^{よしと} 義人 氏

理事辞任 平成24年5月18日付
古河電池株式会社 ^{うつみ} 内海 ^{かつひこ} 勝彦 氏



これに伴い後任の理事の選任を審議した結果、下記の理事の就任が可決承認された。

新理事 新神戸電機株式会社
代表執行役社長 ^{いとう} 伊藤 ^{しげる} 繁 氏
(任期：平成24年5月18日～
平成25年度定時総会開催日迄)



2、第113回理事会

(1) 第1号議題（第1号議案） 副会長選定

専務理事より下記の副会長から理事辞任届が提出された旨の説明がなされた。

理事（副会長）辞任 平成24年5月17日付
株式会社日立製作所 ^{つのだ} ^{よしと}
角田 義人 氏

理事（副会長）辞任 平成24年5月18日付
^{うつみ} ^{かつひこ}
古河電池株式会社 内海 勝彦 氏

これに伴い後任の副会長候補を審議した結果、下記の理事の就任が可決承認された。

副会長 FDK株式会社
代表取締役副社長 ^{わだ} ^{としまさ}
和田 敏雅 氏

副会長 株式会社GSユアサ
代表取締役社長 ^{よだ} ^{まこと}
依田 誠 氏

（任期：平成24年5月18日～
平成25年度定時総会開催日迄）

(2) 第2号議題（第2号議案） 賛助会員入会

事務局長より配布資料に基づき賛助会員の入会申請について説明がなされた。

審議の結果、下記の賛助会員は平成24年6月1日付にて入会することが可決承認された。

(賛助会員入会)

会員名	会員代表者	事業内容
ケメタル ジャパン 株式会社	^{みぼえ} ^{たくじ} 實生 琢二 (代表取締役社長)	ケメタルと そのグループ会社の 製造するリチウム イオン電池用材料の 輸入販売

(3) 第3号議題（第3号議案） 表彰者承認

専務理事より平成24年5月18日付で退任される内海勝彦副会長の功績に対して説明を行い、電池工業会規程に基づく感謝状および記念品の贈呈について提案を行った。審議の結果、内海勝彦副会長の表彰が承認された。

(4) 第4号議題（第4号議案）

新法人移行に伴う実施細則改定

事務局長より、社団法人から一般社団法人への移行に伴う実施細則変更の説明を行った。

審議の結果、第4号議題は原案どおり可決承認された。

(5) 第5号議題（報告事項） 職務執行状況報告

専務理事より、会長、副会長及び専務理事の職務執行状況の報告を行った。

(6) 第6号議題（報告事項） その他報告事項

1) 退会の件

定款第8条の規定に基づき、下記の退会届があった旨報告された。

会員名	変更年月日
シーメンスヒヤリング インスツルメンツ株式会社	H24.3.31

2) 会員代表者の変更の件

定款第6条第3項の規定に基づき、下記の変更届があった旨報告された。

(正会員代表者変更)

会員名	新会員代表者	旧会員代表者	変更年月日
湘南 CORUN ENERGY 株式会社	つばい りょうじ 坪井 良二 (取締役社長)	丸山 弘美	H24.4.1

(賛助会員代表者変更)

会員名	新会員代表者	旧会員代表者	変更年月日
智頭電機 株式会社	あしたに なおし 芦谷 直人 (代表取締役社長)	定森 正治	H24.3.16
コスモ株式会社	おおくぼ たいちろう 大久保太一郎 (代表取締役)	大久保要二郎	H24.4.1

3) 部会名称検討結果の件

第112回理事会で懸案となっていた「二次電池部会」の名称見直しについて、検討の経緯および結果を説明し、名称は現状のままとする旨報告された。

以上



副会長に依田誠氏、和田敏雅氏を選出

第113回理事会にて、副会長を退任された角田義人氏、内海勝彦氏の後任として、依田誠氏、和田敏雅氏が新たに選出された。



副会長 依田誠



副会長 和田敏雅

岡田乾電池を創業したのは、初代岡田悌蔵氏です。

岡田悌蔵氏は、日本乾電池製造株式会社の設立者岡田嘉蔵氏と双生児であり、明治4年（1871年）3月6日に兵庫県養父郡出石町に生まれました。嘉蔵氏が長男で悌蔵氏は次男になります。3歳の時に母を、また7歳の時に父を亡くして、漸く物心つく頃に兄弟そろって社会の荒波に投げ出されてしまいました。

岡田悌蔵氏は小学校の教育すら終えることができませんでしたが、持って生まれた剛毅な性格で、また独立心が強く、14歳の時には魚の行商を始め自活の途を立てました。

明治27年（1894年）の日清戦争には従軍し、終戦後は巡查になりました。警察では、巡查部長に昇進していますが、上司と合わず、負けず嫌いで短気だったので、ついには官服を警察署前で叩きつけて退官してしまいました。明治28年には台湾討伐戦に従軍して帰還し、逓信院関係の職に就きました。明治37年（1904年）の日露戦争では、3度目の招集を受け従軍しました。日露戦争では深傷を受けて広島の病院に送還されましたが、それでも3度の従軍で一平卒から特務曹長まで昇進しています。日露戦争では、友軍救出を躊躇した少尉を斬り殺そうとしたという逸話も残っており、岡田悌蔵氏の性格を物語るものと言えそうです。

明治38年には、当時20歳の金子すへさんと結婚しました。また、その年に兄の岡田嘉蔵氏が経営する日本乾電池製造株式会社に就職しました。すへ夫人は新婚早々、日本乾電池製造株式会社の寮母といった仕事を引き受け、工員の食事や身の回りの世話に骨身を砕きました。一方の悌蔵氏、妥協嫌いで、会社の人事を不満として、1年余りで日本乾電池製造株式会社を退社してしまいました。

そして、明治39年12月に南品川6丁目に岡田商會を設立して、乾電池の製造を始めました。屋井乾電池や日本乾電池製造とは異なる電池として小形の灯火用乾電池の製造を目的に始めましたが、乾電池の製造技術を持たない悌蔵夫妻は、日夜試作に次ぐ試作の日々となり、心身を削る毎日を送

ることになりました。しかも資金としては当時の金で僅か数百円しかなく、材料もいわばその日買いの苦しい状況でした。しかし、その辛苦の努力がやがて実を結ぶことになり、業績は日増しに上がっていきました。明治42年頃になると、従業員の数も20名近くとなり、資金的にも余裕ができるようになりました。この年の長男が生まれ（2代目岡田悌蔵氏）、翌明治43年には南品川3丁目に移って工場を拡張しました。

大正2年には早くも台北に出張所を設けるといった進出ぶり、ジャワ方面への輸出も盛んになり、事業は順調に拡大していきました。しかし、大正10年頃になると販売先の70%を占めていた南洋の市場を失うことになってしまい、さすがに剛腹の悌蔵氏も意気消沈し廃業さえ考えるまでに至ります。しかし、大正11年になると逓信省の指定工場になって息を吹き返すことになり、大正12年の関東大震災では震災の影響を免れその上に需要の激増に助けられることになり、またラジオ放送開始でB電池の急激な需要増があり、事業は前年の落ち込みを完全に挽回することになります。

B電池の需要もやがて交流式ラジオの登場により激減することになりますが、それに代わるものとして砲弾型電池の下請けに始まる松下電器との提携でした。これによって岡田乾電池は事業を確立することになります。昭和2年には自転車用乾電池の生産増強のため辻堂に工場を建設し、昭和5年頃には130名の行員を擁するまでに発展しました。

岡田悌蔵氏は酒豪でしたが、長年にわたり氏の体は蝕まれていったものと思われています。昭和5年8月に胃潰瘍で倒れることになりますが、倒れて3日目には脳溢血を起こして他界しました。享年60歳でした。



岡田 悌蔵氏

平成24年 5月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	14日(月)	広報総合委員会	各でんちフェスタWG進捗報告、今年度ポスター案審議、今年度電池教室審議、他。
	14日(月)	広報ワーキンググループ	名古屋でんちフェスタ実施内容検討、関西でんちフェスタ実施内容検討。
	16日(水)	T30回JEA蓄電池設備認定委員会	蓄電池設備資格審査案件3件及び蓄電池設備の型式認定案件20件を審議し、全件を承認した。
	18日(金)	第44回総会、第113回理事会開催	H23年度事業結果報告、新副会長・理事決定。
	24日(木)	ボタン電池回収推進委員会	H23年度事業結果報告、今後の課題審議。
二次電池部会	9日(水)	資材委員会	使用済み自動車用鉛蓄電池データ審議、他。
	11日(金)	自動車鉛分科会	IEC、JIS、SBA改正審議、安全表示ガイドライン審議、他。
	14日(月)	EV鉛分科会	IEC、JIS、SBA改正審議、安全表示ガイドライン審議、他。
	16日(水)	T30回JEA蓄電池設備認定委員会	蓄電池設備資格審査案件3件及び蓄電池設備の型式認定案件20件を審議し全件を承認、他。
	16日(水)	SBRA/特利委員会	新自主スキーム限定運用進捗状況、他。
	18日(金)	用語分科会	技術標準審議、他。
	24日(木)	産業用電池技術サービス分科会	SBA G 0606改正審議、他。
	24日(木)	充電器分科会	SBA S 0903改正審議、SBA G 0901改正審議、他。
	25日(金)	自動車用鉛電池リサイクル委員会	BAJ自主スキーム確認事項たたき台検討。
	30日(水)	SBRA/特利委員会	新自主スキーム限定運用進捗状況、他。
二次電池第2部会	8日(火)	次世代蓄電池委員会	企画書案審議。
	9日(水)	LIB蓄電システム分科会	定置用Li-Ion蓄電池導入促進事業の運用面審議。
	10日(木)	据置LIB分科会	産業用Li-IonのJIS案審議。
	11日(金)	LIB安全性技術委員会	産業用蓄電池の安全性試験規格への対応協議。
	14日(月)	法規ワーキンググループ	蓄電池設備整備資格者講習テキスト案審議。
	15日(火)	据置LIB分科会	産業用Li-IonのJIS案審議。
	15日(火)	ニカド・ニッケル水素分科会	JIS C 8708改正対応。
	15日(火)	リチウム二次分科会	JIS C 8711改正対応。
	16日(水)	据置LIB分科会	産業用Li-IonのJIS案審議。
	16日(水)	PSE ワーキンググループ	電気用品安全法に係わる審議。
	18日(金)	リチウム二次分科会	SBA規格対応とANSI規格対応。
	21日(月)	国際電池輸送委員会	リチウム電池の輸送規制強化への対応協議。
	21日(月)	国際電池規格委員会	IEC規格改正・新規作成、UL規格、中国規格の対応審議。
	21日(月)	据置LIB分科会	産業用Li-IonのJIS案審議。
	22日(火)	据置LIB分科会	産業用Li-IonのJIS案審議。
	22日(火)	技術委員会	IEC委員の変更審議。
	23日(水)	LIB蓄電システム分科会	定置用Li-Ion蓄電池導入促進事業の運用面審議。
	24日(木)	次世代蓄電池委員会	企画書案審議。
	25日(金)	再資源化委員会	小形充電式電池の識別表示ガイドラインに関する審議。
	25日(金)	業務委員会	統計数値確認、運営方針再検討。
28日(月)	据置LIB分科会	産業用Li-IonのJIS案審議。	
29日(火)	据置LIB分科会	産業用Li-IonのJIS案審議。	
一次電池部会	10日(木)	規格小委員会	JIS C 8500、JIS C 8515、JIS C 8514、IEC60086シリーズ改正審議。
	11日(金)	リチウム小委員会	IEC60086-4 CD/IEC62281 CDVの審議、ICAO WG対応、他。
	15日(火)	資材委員会	電池用主要材料の動向調査、ニッケルの輸入関税内容の検討。

新シリーズ 自動車用バッテリー「New XGシリーズ」発売 高容量・高入出力・高耐久のプレミアムバッテリー「XGプレミアム」新開発

新神戸電機株式会社



XGプレミアム



XGスタンダード



新神戸電機株式会社（執行役社長：伊藤 繁、本社：東京都中央区明石町8番1号）は、特約店、販売店向け商品として販売している自動車用バッテリー「ハイパワーXGシリーズ」を全面リニューアルし、新シリーズ「New XGシリーズ」を5月下旬から販売いたします。

近年、環境負荷低減への関心の高まりから、発電（充電）制御車やアイドリングストップ車などの環境対応車が市場の中心となりつつあります。発電（充電）制御システムを搭載した環境対応車は2012年では国内乗用車の約45%、2013年では約50%以上となると想定され、現在は軽自動車を含み市場が拡大しています。これらの環境対応車は従来の自動車と比較してバッテリーへの負荷が大きく、バッテリーに対して常に高容量化・高入出力・高耐久性が求められています。

このような市場背景を受け、今回のリニューアルでは従来の3グレード17機種から、当社製バッテリーにおいて最上位の高容量・高入出力・高耐久性を誇る「XGプレミアム」と、コストパフォーマンス重視の「XGスタンダード」の2グレード11機種へ統合し、新たに市場投入するものです。

今回、販売開始するNew XGシリーズ「XGプレミアム」は環境対応車の市場ニーズに応えるべく、当社

発電制御車用バッテリー「Tuflong ECO」に投入された技術をベースに

- ①正極板ペースト見直しと負極板にエキスパンドファイブメッシュ格子を採用し、容量、出力特性を向上（WXGシリーズ同サイズ比115%）。
- ②負極板活物質を微細化し、反応面積を増大させることで入力特性を向上（WXGシリーズ同サイズ比180%）
- ③正極格子にエキスパンド高耐食性合金を使用することで耐久性を向上（WXGシリーズ同サイズ比125%）
上記改良を加え、発電（充電）制御システムを搭載した車両に適合できる性能を有します。依然としてJAF出動理由の第1位である「バッテリーあがり」（平成22年度JAF出動データより）の減少に大きく貢献できる製品です。

また、「XGスタンダード」では、従来の性能はそのままにバッテリー持ち運びや装着時の利便性を考慮し「さげ手」を標準装備、また防爆タイプの液口栓を引き続き採用することで、安全性を確保しています。

当社は、今後とも燃費向上、CO₂削減など環境対応車の要求に幅広く応えることができるバッテリーの開発を進めることが最大の使命と考え、引き続き地球環境負荷低減に貢献できる製品開発を進めてまいります。

【発売時期】 2012年5月末

【製品保証】 XGプレミアム 3年または10万km
XGスタンダード 2年または 4万km

【メーカー希望小売価格】 オープン価格

【キャンペーン】 発売記念キャンペーンを予定

<製品仕様>

XGプレミアム (5機種10タイプ)

形式名	公称電圧 (V)	5時間率容量 (Ah)	最大外形寸法 (mm)				質量* (約kg)
			総高さ	箱高さ	幅	長さ	
B19R/L	12	36	227	203	127	187	10.5
B24R/L	12	48	227	203	129	238	13.5
D23R/L	12	58	225	204	173	232	17.0
D26R/L	12	66	225	204	173	260	20.0
D31R/L	12	76	225	204	173	306	21.5

XGスタンダード (6機種12タイプ)

形式名	公称電圧 (V)	5時間率容量 (Ah)	最大外形寸法 (mm)				質量* (約kg)
			総高さ	箱高さ	幅	長さ	
30A19R/L	12	21	187	162	127	187	7.0
40B19R/L	12	28	227	203	127	187	8.5
55B24R/L	12	36	227	203	129	238	12.0
75D23R/L	12	52	225	204	173	232	15.5
85D26R/L	12	55	225	204	173	260	17.0
95D31R/L	12	64	225	204	173	306	20.0

*梱包材含む

軽自動車用・軽トラック用バッテリー
グラン クルーズ ケイ
Gran Cruise K シリーズを新発売！！

さらに自家用乗用車用高性能カーバッテリー

「Gran Cruise High Class」と「Gran Cruise Standard」シリーズを一新!

株式会社 ジーエス・ユアサ バッテリー



株式会社 ジーエス・ユアサ バッテリー（社長：坂本 文明、本社：東京都港区）は、軽自動車用・軽トラック用バッテリーとして「Gran Cruise K」シリーズを新発売いたします。さらに、自家用乗用車用バッテリー「Gran Cruise High Class」と「Gran Cruise Standard」シリーズを一新して、発売いたします。「Gran Cruise」シリーズは、主に個人でバッテリーを交換されるお客様を対象とした商品として2006年に発売いたしました。自家用乗用車用バッテリーの交換方法をパッケージに記載し、個人での交換をサポートしております。今回新発売する「Gran Cruise K」シリーズを加えた3シリーズともに、6月から順次カー用品店、ホームセンターなどで発売いたします。

「Gran Cruise K」シリーズは、軽自動車用、軽トラック専用の商品です。当シリーズは車種別適合表と

連動する記号を個装箱に記載するなど、より商品を選んでいただきやすくなるような工夫をいたしました。

また、「Gran Cruise High Class」と「Gran Cruise Standard」は今回のモデルチェンジで、両シリーズともにラインナップを一新いたしました。「Gran Cruise High Class」は今回発売するモデルより、従来の基本性能はそのままに充電受入性を向上させることで、「充電制御車※」に対応しております。

当社は今後も、時代によって移り変わる自動車用バッテリーへのご期待・ご要望に対して、「GSユアサ」の高い技術力でお応えしてまいります。

※充電制御車…充電時間を制御して燃費の向上を図るシステムを搭載した車両

【各商品の説明】

「Gran Cruise K（グランクルーズ ケイ）」

～軽自動車のすべてのサイズに対応可能！（アイドリングストップ車を除く）～

- ① 軽自動車・軽トラックに特化した充実のラインナップ。
- ② 袋状低抵抗セパレータ※¹を採用し、始動性能をアップ。内部ショートが発生も抑制。
- ③ GKT-40B19Lは、軽トラックの用途に適した、防塵性の高い液栓を採用。
- ④ 使用開始日をラベルに記載でき、交換時期確認の目安としてご利用可能。
- ⑤ バッテリーの状態が3段階でわかる、安心のインジケータ※²を採用（GKI-44B20R(L)、GKT-40B19Lを除く）

「Gran Cruise High Class (グランクルーズ ハイクラス)」 ～充電受入性を向上させ、充電制御車に対応！～

- ① 極板カーボン処方※3により、充電受入性が向上。充放電が繰り返される充電制御車に最適化。
- ② 極板に採用された高品質グリッド※4と、袋状低抵抗セパレータにより、活物質の脱落による内部ショートを防ぎ、長寿命を実現。
- ③ 極板の接続部にはCOS (cast on strap) ※5を採用し、充・放電特性と集電能力が大幅に向上。低温下でも高い始動性能を発揮。
- ④ バッテリーの状態が4段階でわかる、安心のスマートインジケータ※6を採用。
- ⑤ バッテリーのパッケージにバッテリーの交換方法のイラストを記載。お客様のセルフ購入・交換をサポート。

「Gran Cruise Standard (グランクルーズ スタンダード)」 ～充実の基本性能はそのままに、ラインナップを一新！～

- ① 袋状低抵抗セパレータを採用し、始動性能をアップし内部ショートの発生も抑制。
- ② バッテリーのパッケージにバッテリーの交換方法のイラストを記載。お客様のセルフ購入・交換をサポート。

※1 バッテリーの内部抵抗を抑えた薄型の袋状のセパレータ

※2 外観から液量や充電状態が確認できる部品

※3 極板のカーボン量を最適化しました

※4 鉛合金を最適配合した、最適形状の極板の格子

※5 鋳造式一体成型ストラップ

※6 通常のインジケータとは異なり多段階でバッテリーの充電状態が確認できる、より高機能なインジケータ

【製品補償】

「Gran Cruise K (グランクルーズ ケイ)」	36ヶ月または累計走行距離6万km
「Gran Cruise High Class (グランクルーズ ハイクラス)」	36ヶ月または累計走行距離6万km
「Gran Cruise Standard (グランクルーズ スタンダード)」	24ヶ月または累計走行距離4万km

※補償期間および累計走行距離は、いずれもご購入後どちらか早く到達するまで

【発売月】 2012年6月 (全シリーズ)

【販売目標数】 500,000個 (初年度)

【機種一覧】

「Gran Cruise K (グランクルーズ ケイ)」

GKI-34B17L	GKI-40B19R(L)	GKI-44B19R(L)	GKI-44B20R(L)
GKT-40B19L			

「Gran Cruise High Class (グランクルーズ ハイクラス)」

GHC-34B17R(L)	GHC-40B19R(L)	GHC-44B19R(L)	GHC-60B24R(L)
GHC-80D23R(L)	GHC-85D26R(L)		

「Gran Cruise Standard (グランクルーズ スタンダード)」

GST-30A19R(L)	GST-28B17R(L)	GST-38B19R(L)	GST-40B19R(L)
GST-46B24R(L)	GST-55B24R(L)	GST-55D23R(L)	GST-75D23R(L)
GST-80D26R(L)	GST-105D31R(L)		

※価格はオープン価格です。

3月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2012年3月）

単位：数量—千個、金額—百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

（2009年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「二輪用」が含まれました）

（2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました）

（2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました）

（2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました）

（2011年6月より経済産業省の機械統計が「酸化銀電池」に「その他の乾電池」が含まれました。）

（2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン電池」に「車載用」が新設されました。）

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	425,839	77,077	88%	138%	1,114,139	211,146	88%	130%
一次電池計	276,694	8,984	85%	85%	722,694	23,600	87%	94%
酸化銀電池	88,097	1,649	102%	122%	239,123	4,474	96%	121%
アルカリ乾電池計	108,125	4,389	72%	72%	269,471	10,923	86%	90%
単 三	62,271	2,147	71%	68%	152,741	5,250	86%	87%
単 四	29,193	1,047	70%	73%	73,088	2,602	87%	98%
その他	16,661	1,195	79%	79%	43,642	3,071	84%	89%
リチウム電池	80,472	2,946	89%	92%	214,100	8,203	81%	90%
二次電池計	149,145	68,093	96%	150%	391,445	187,546	89%	137%
鉛電池計	2,933	15,553	126%	119%	8,695	45,095	114%	110%
自動車用	2,175	8,315	135%	126%	6,480	25,916	116%	112%
その他の鉛蓄電池	758	7,238	106%	111%	2,215	19,179	107%	108%
アルカリ蓄電池計	56,917	20,772	118%	210%	157,242	59,182	116%	186%
ニッケル水素	42,251	19,073	124%	244%	115,212	53,825	119%	209%
その他のアルカリ蓄電池	14,666	1,699	104%	82%	42,030	5,357	106%	87%
リチウムイオン蓄電池計	89,295	31,768	85%	142%	225,508	83,269	76%	130%
車載用	3,827	14,940	—	—	8,262	37,505	—	—
その他	85,468	16,828	—	—	217,246	45,764	—	—

3月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2012年3月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	195,218	31,411	87%	119%	518,430	79,322	81%	109%
一次電池計	78,589	2,033	80%	99%	223,892	5,534	76%	97%
マンガン	611	14	69%	58%	1,062	28	40%	39%
アルカリ	3,877	57	21%	20%	11,179	190	21%	24%
酸化銀	35,348	555	96%	129%	110,823	1,620	98%	126%
リチウム	38,586	1,264	96%	104%	100,521	3,344	84%	100%
空気亜鉛	92	1	7%	6%	178	2	4%	3%
その他の一次	76	143	168%	207%	129	351	124%	181%
二次電池計	116,629	29,379	92%	120%	294,538	73,788	85%	110%
鉛蓄電池	134	682	109%	98%	391	2,410	101%	125%
ニカド	10,052	895	94%	83%	30,969	2,653	101%	92%
ニッケル鉄	15	1	—	—	15	1	—	—
ニッケル水素	13,355	4,534	82%	106%	34,290	11,683	86%	106%
リチウムイオン	85,174	19,766	91%	122%	210,088	47,545	81%	104%
その他の二次	7,899	3,501	137%	161%	18,784	9,497	127%	183%
全電池合計（輸 入）	111,338	8,985	77%	101%	328,080	25,046	103%	107%
一次電池計	103,274	1,276	76%	76%	303,922	3,492	103%	94%
マンガン	17,437	131	51%	36%	57,735	412	75%	56%
アルカリ	71,989	750	83%	78%	205,411	2,114	112%	107%
酸化銀	578	13	247%	236%	1,199	29	132%	157%
リチウム	8,703	242	112%	98%	26,144	660	116%	103%
空気亜鉛	4,230	52	90%	72%	12,648	159	139%	113%
その他の一次	338	87	17%	303%	784	117	28%	56%
二次電池計	8,063	7,709	90%	106%	24,159	21,554	106%	109%
鉛蓄電池	661	2,538	86%	94%	1,957	7,301	94%	102%
ニカド	586	134	69%	68%	2,902	500	179%	91%
ニッケル鉄	0	0	0%	0%	0	0	1%	11%
ニッケル水素	1,504	542	—	—	4,490	1,353	—	—
リチウムイオン	4,532	3,236	—	—	11,883	8,325	—	—
その他の二次	780	1,259	—	—	2,926	4,074	—	—